

ご使用上の注意

- 1 この安全靴は、先芯で覆われたつま先を保護するもので、JIS T8101 (安全靴) に該当する性能を有していますが、それを超える衝撃・圧迫に耐えられるものではありません。
- 2 滑りにくい靴底ですが、油や水の多い場所では気をつけてご使用ください。
- 3 一度衝撃や圧迫を受けた安全靴及び甲プロテクタは、外観のいかににかかわらず使用しないでください。
- 4 脱着式甲プロテクタは、安全靴の先芯の後端に甲プロテクタ本体が必ず10mm以上重なるよう取り付けてください。
- 5 安全性が低下しますので、先芯に穴を開ける等の加工はやめてください。
- 6 耐踏抜き性「P」が表示されている安全靴は、1,100Nの踏抜き強度がありますが、それを超える踏抜き強度に耐えられるものではありません。
- 7 つま先部に硬質の先芯が入っていますので、足入れには充分注意してください。
- 8 甲被が破れて先芯が露出したり、靴底の意匠がなくなったような場合には、使用しないでください。
- 9 跳び降りると事故の原因となることがあります。
- 10 靴底の材質によっては床の外観を損なうことがあります。
- 11 先芯が入っていますので、スポーツやレジャーその他の目的には適していません。
- 12 かぶれやかゆみ等、足に異常が生じた場合は使用をやめてください。
- 13 靴のサイズは目安にすぎませんので、実際に履いてみて足に合う靴をお求めください。
- 14 靴が脱げないように靴ひもや面ファスナーはしっかり締めてください。また、かかとをつぶしてお履きにならないでください。
- 15 牛革を使用した靴は、汗をかいたり、濡れたときは多少色落ちすることがあります。

表底に軽量ポリウレタン(発泡ポリウレタン)を使用した安全靴・作業靴については、ポリウレタンの特性上、次の事項にご留意の上、ご使用ください。

ポリウレタン底の加水分解について

ポリウレタン底の製品は、軽量で耐摩耗性に優れておりますが、長期保管(一般的に4年以上)すると、使用頻度にかかわらず新品の状態でも経年劣化(加水分解)を生じ、破損する場合があります。

この加水分解は、ポリウレタン特有の現象であり、空気中の水分、水、酸、アルカリなどによりポリウレタンの化学結合が徐々に分解され、強度が低下してしまう現象です。次の取り扱い方法にお気遣いいただくことで、長くご使用いただくことができます。

- ①長期間の保管を避け、なるべく速やかにご着用ください。
- ②直射日光や高温多湿の場所を避け、風通しの良い日陰で保管してください。

●金属切削くず等の鋭利な物を踏むと切り傷ができ、底割れの原因となります。 ●通常温度以上の熱湯、または熱体に直接触れるような作業環境(炉前作業、鑄造作業、熱処理作業、溶接作業など)では、底が溶解することがありますので、使用しないでください。 ●酸・アルカリ等の薬品やシンナー等の溶剤、水を多量に使用する作業環境では、はがれや破損、加水分解による劣化などを生ずることがありますので、ご注意ください。なお、靴に水、薬品が付着した場合は速やかに拭き取ってください。

